

# Application for Participation

## Associated Schools Project (ASP)

### for Promoting International Education

「ぼくたち、わたしたちの町 “大好き！岩西”」

～地域から学ぶ、地域で学ぶ、地域に学ぶ～

## Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

### Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校では、これまでも地域の特色ある施設や特色ある取り組みをされている方、さらに地域性の高いさまざまな行事を授業に取り入れることにより、地域に関わり、地域に愛着をもつ子の育成を旨とした教育活動を実践してきた。

特に、平成21年度から地域の人・もの・自然とすすんで関わることで、地域に学び、地域との関わりを深める子どもを旨として、総合的な学習の時間・生活科・道徳を関連づけた教育活動の展開を工夫している。この中で各学年それぞれの取り組みにより、校区の自慢できる場所の発見とその紹介、校区に在住する広い視野をもった方からの学び、また、校区のために無償でボランティアを続ける方たち方から思いを知ること、さらに、祭礼や町自治会の活動など校区の取り組みを知ることができた。

このことを「持続可能な開発のための教育」(ESD)の推進に結びつけていくために、これまでの各学年の教育課程を見直し、学年間の連携および継続を意図的・計画的に図ることとした。学年間の生活科・総合的な学習の時間の内容を段階的にステップアップできるように整理し、学年内において道徳との関連を意識した実践を進めている。このことから、6年間、そして中学校への引き継ぎにより継続的な実践を行うことで、将来にわたって地域のよさを知り、地域に住む自分といった意識を高めていくことができ、岩西が好きな子どもを育ていけると考えている。

### Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、ESDへの取り組みの入り口を地域連携の立場からとした。本校児童は、隣接する特別支援学校、給食調理場、福祉施設など、地域の多様な施設との交流や地域にある商店などを題材とした学習を続けてきた。さらに、平成21年度から3年間、市の研究委嘱「地域連携推進」を受け、従来の取り組みを整理し、各学年の生活科・総合的な学習の時間に位置づけたり、道徳等の授業との関連を図ったりするなどの取り組みを行ってきた。この中で、各学年の発達段階に即した単元を構成し、題材としても自治会の主催する祭礼など、地域の取り組みを取り入れた。このことから、近年、「地域に密接した学校」という意識がより強くなってきた。この取り組みを持続発展させ、地域に根づいた文化の継続、伝承、地域の環境保全を図っていくことも目的としたい。

そのために本校では、以下の三つの活動で次のような目標を掲げる。

#### (1) 地域を題材とした各学年の単元の構想

- ・ 生活科および総合的な学習の時間における単元構想
- ・ 地域を取り入れた単元構想に関わる道徳および特別活動の授業構想
- ・ 地域教材としての人的・物的資料のデータベース化



(1) 総合的な学習の時間 3年「岩西よいところ大作戦」



○何度も地域へ出かけ、地域の人・もの・自然とかわる



○地域の人から学ぶ  
(花名人に教えてもらいながら、花壇を作る)



○学校から地域へ発信  
(公園をきれいに使ってもらうために、看板を作成)

(2) 地域連携を密にする活動および組織の構築



○TNP会議  
(小中学生と、健全育成会・地域教育ボランティア推進委員の地域の大人たちが、よりよい校区にするために何ができるかを話し合う)



○あいさつ運動  
(TNP会議で意思統一された、あいさつの輪を広げるために、委員会を中心に活動)

(3) 地域に伝わる文化にふれ、地域が主催する行事へ参加



○サマー&フェスタの体験講座  
(地域の太鼓連の方々から太鼓の打ち方を学



○隣接する養護学校の児童と交流

**Type of materials to be used (使用する教材)**

「かがやくとよはし」 平成23年4月1日発行 編集：豊橋市立小学校社会科副読本研修委員会

発行：豊橋市教育委員会 印刷：株式会社アプライズ

「明るい心」 昭和33年度創刊 平成21年度改定 編集：愛知県小中学校長会  
発行：愛知県教育振興会

「マイタウン 岩西」 平成19年3月第2版発行 編集：豊橋市立岩西小学校  
発行：豊橋市立岩西小学校

道徳自作資料 平成23年度作成 編集：豊橋市立岩西小学校

**Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)**

指導教師は、活動の際や、普段の生活の中でも児童の態度・姿勢を観察し、プロジェクトの後には振り返りカードへの記述によって評価する。

それとともに以下のような評価方法をとる。

- ・児童のさまざまな活動への成果を、事後のまとめや感想などから把握する。
- ・学習や活動のまとめとしての授業公開や、行事（岩西発表会：学芸会）等での成果の発表、地域への発信を通して、関心・意欲・態度等を観察し、評価する。

上記の評価とともに、学校評議員を通じた地域からの評価や、行事・保護者会後のアンケート調査、年間2回の全保護者を対象としたアンケート調査等から、ESDアクティビティプログラムの見直しを図り、地域とともに生きる岩西っ子を育成するための活動内容を改善していく。

*On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.*

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

---

**Date (日付)**

---

**Principal's name (校長名 (※直筆))**

**Position, (役職)**

**Institution's name (学校名)**